

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会
平成 30 年度 第 6 回理事会議事録

開催日時： 平成 30 年 12 月 2 日（日） 15 時 00 分～18 時 00 分

開催場所： 日本臨床検査自動化学会事務所（文京区本郷）

出席者： 康東天理事長、横田浩充副理事長、萱場広之理事、澤部祐司理事、
谷直人理事、通山薫理事、萩原三千男理事
白井秀明監事、村上正巳監事

欠席者： 日高洋理事、和田隆志理事、栢森裕三監事

議題 1. 理事長挨拶

康東天理事長より、年末の多忙な折に第 6 回理事会にご参集頂いたことへの謝辞があった。

1-1. パース大学からの「先端臨床検査技術開発拠点」要望書提出

- ・先方の取り組みに対して、応援ではなく賛同とする内容で既に提出済みである旨の報告があった。

1-2. 2021 年度の大会日程について（JACLaS とのお打合せ結果）（資料 1）

康東天理事長・横田浩充副理事長・JACLaS とで以下を協議した。

- 1) 2021 年から 3 年間、試行的に金曜・土曜・日曜で開催することで JACLaS 側と合意した。但し、JACLaS 会員の一部分から変更することに反対の意見もあり、日曜の機器展示については開催するか否か未確定とのこと。
- 2) 木曜に委員会を開催し、金曜から大会を開催する見込みとする。
- 3) 日程以外の事案として
 - ・ JACLaS Award を 5 名ほど授与し、旅費を負担して学会懇親会で表彰する。
 - ・ 大会の日程がタイトなため、一般演題の一部をポスター化する案も検討中である。

以上の報告があった。

議題 2. 報告事項

2-1. 総務職務報告（横田副理事長）

- ・ JACLaS Award の内容に関してメールで協議した。当初、日本臨床検査教育協議会に組み込む形で提案があったが、自動化学会の演題（学生発表枠を設定）の中から優秀な演題を選出することとなった。

2-2. 各地域担当からの報告

- 1) 北海道・東北地区；萱場理事から、日臨技北日本支部学会への参加協力に対して御礼があった。
- 2) 関東地区；澤部理事から、新たな評議員を選定中であり、2月の理事会で報告し6月の総会で承認を得る方向で進める。
- 3) 東海・北陸地区および近畿地区は、特になし。
- 4) 中・四国地区；通山理事から、50回大会開催に対して御礼があった。近隣施設にスタッフとして多大な協力をいただいております、今後予算面についても検討していただきたい。
- 5) 九州地区；特になし。

- ・ 現在の評議員数を再度確認し、会員数の1割程度となるよう残り枠数を事務局にて確認の上、各理事ならびに各委員会からの推薦をお願いすることとした。

2-3. 完売補冊の Amazon 販売について（事務局：石川）（資料2）

- ・ 現在、販売可能な冊子は7種類で、過去の販売実績から試算すると、Amazon の販売価格は¥3,000/冊でないと対応困難との報告があった。

2-4. その他

- ・ 特になし

議題3. 審議事項

3-1. 遺伝子プロテオミクス委員会より活動費申請（資料3）

- ・ 通山理事より、中山委員長から「MALDI-TOF-MSによる迅速同定の精度管理のために菌株を購入したい」との要望説明があり、見積内容も含めて審議の結果、承認された。

3-2. 遺伝子プロテオミクス委員会より活動申請（資料4）

- ・ 通山理事より、中山委員長から「遺伝学的検査の外部精度管理としてクロスチェックを実施したい」との要望説明があり、費用支出を伴わないことの追加説明があり審議の結果、承認された。

3-3. 第2回各学術委員会議事録（資料5～10）

- ・ 通山理事より、資料に基づいて説明があり議事録を承認した。

- ・第 69 回と第 70 回 POC セミナー企画案について、例年通りであり承認したが、開催承認を要する案件は、別途審議事項として申請をするよう再度各委員会に連絡することとした。

3-4. 委員会委員異動申請（資料 11～15）

- ・通山理事より、資料に基づいて委員の交代申請の説明があり、新任の委員が承認された。
- ・遺伝子・プロテオミクス技術委員会委員の退任について、自施設に質量分析装置が無いため退任する理由書があったが、装置の有無で退任する必要はないのでは、との意見があった旨を委員長に伝えることとした。

3-5. 医療情報委員会からの補冊作成願い（資料 16）

- ・通山理事より、資料に基づいて説明があり審議の結果、申請を承認した。

3-6. 編集委員会より転載時の扱いについて（資料 17）

- ・村上監事より追加資料を基に、学術著作権協会からの転載の許諾に関する説明があった。
- ・萱場理事より資料に基づいて説明があり、企業が投稿論文を英文化して利用する場合、営利目的なら費用の請求を考慮する。英文化に関しては、学術著作権協会に委任するのが良いとの意見あり、転載申請があれば前向きに検討することとした。
- ・次に、査読要綱の改定案について説明あり、現在、査読は編集委員 1 名で行っているが、編集委員 2 名（1 名は評議員でも可とする）に変更することで、査読期限を過ぎる問題に対処可能な運用にする。
- ・付記：倫理審査に関して、技術投稿に関しては適応外とする方向となったが、その後追加審議を希望する意見あり、次回の編集委員会にて再検討する予定である旨が報告され了承された。

3-7. 科学技術委員会内規について（資料 18）

- ・澤部理事より、本委員会の内規作成について資料を基に説明があり、第 6 章 補則内の“会議”を“委員会”に変更し、施行日を 2018 年 12 月 2 日とすることで承認された。
- ・内規が未作成の委員会に対し、作成を要請することとした。

3-8. JACLaS Award について（資料 19）

- ・横田副理事長より、専門学校・大学や大学院生を主対象に新たな掘り起こしと学会参加者増を目的とし、学校に対して演題を公募し、大会にて優秀演題賞として 5 名に旅費・大会参加費と賞金を付与する案の説明があった。
- ・現在開発中の会員・学会支援システムに「学生」の枠を追加する必要がある。
- ・社会人大大学院生を含めるか否かの意見があり、対象者や旅費・賞金(1or3 万

円またはクオカード)の扱い等を JACLaS と再度協議し、書面会議で再審議することとした。

3-9. 演題数増加のための協議(臨床検査機器試薬検討会について)

- ・横田副理事長より、本件は 6 月の理事会からの継続審議であり、臨床検査機器試薬検討会と称するセッションを設けて演題数を増やす計画案の説明があった。
- ・演題減少の要因に、機器・試薬検討の発表に対して企業側(特に臨薬協)が発表を抑制するケースがあり、企業側に倫理に対する正しい理解を啓発する必要性がある。
- ・加えて、企業側自らの発表を増やすように要請する。
- ・自動化学会として、一般演題の中に症例・事例検討等の枠組を設け、症例・事例報告も積極的に受け入れることを広くアナウンスする。
- ・以上の意見が出され、継続検討することとした。

3-10. 第 51 回大会の合同交流会会場について (資料 20)

- ・事務局(石川さん)より、資料に基づいて候補会場の説明があった。交流会の規模や企画内容も含め会場について JACLaS 側と 12 月中に協議することとした。

3-11. 役員任期について (資料 21)

- ・康理事長より、資料に基づいて説明があり、来年度改選対象の役員等が確認された。
- ・定款第 16 条 4「役員任期は連続して 8 年を超えない」の解釈について、理事会としては、理事と監事を合わせて 8 年ではなく『理事と監事それぞれ別々に最長 8 年とする』ことで確定された。明確化のために細則に、その旨を明記することとした。

3-12. 選挙管理委員会メンバー選出 (資料 22)

- ・横田副理事長より、資料に基づいて説明があり、評議員一覧の中から 4 名と立会人を以下のとおり選出した。
- ・立会人は白井監事をお願いした。選挙管理委員候補者は、渡辺卓氏・福武勝幸氏・戸塚実氏・星野忠氏とし、理事長および副理事長から打診することとした。なお、委員長については互選とすることとした。

3-13. 機関誌のオンライン化について (資料 23)

- ・康理事長より、委員会が増えたことで今後、補刷の出版が増えることが見込まれ印刷費用が増大する。学会誌を電子版にして会員マイページから参照する方式とし、抄録集と補刷は現行のまま冊子とすることで、経費的に賄える旨の説明があった。

- ・ 広告収入分が収入減となるが、印刷料と送料が不要となることで相殺できる。
- ・ 以上の方向性について承認とし、具体的なことは編集委員会に検討を依頼することとした。また、来年6月の社員総会にて評議員に提示することとした。

3-14. 50周年記念誌について

- ・ 〆谷理事より、25周年・30周年・40周年記念誌の発刊実績を踏まえて、学会として節目の50周年記念誌を作成することが提案された。今後、予算化も含めて編集委員会に内容の検討を依頼することとした。

議題4. その他

4-1. 次回開催日程

- ・ 康理事長より、以下の行事について説明・確認があった。

(1) 臨時プログラム委員会：共催シンポジウムについて

2018年12月2日（日）18:00～19:00

(2) 臨時プログラム委員会：学会支援システムのデモ

2019年2月3日（日）13:00～15:00 学会事務所

(3) 第7回理事会

2019年2月3日（日）15:00～18:00 学会事務所

以上

平成30年〇月〇日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長

康 東 元



議事録署名人

(出席監事)

白 井 秀 明



議事録署名人

(出席監事)

村 上 正 巳

